



むらた よしえ  
**村田巧江**さん 水墨画

三芳町在住。40年ほど前の水墨画講習会で「墨で遊ぶ」水墨画の存在を知り、興味を持つ。本格的に始めたのは20年ほど前。近年は毎年のように展覧会に出品し、受賞歴も多数。



◀自宅には受賞したトロフィーが並びます。

## 墨の濃淡で表現する水墨画の素晴らしさ

**筆**が一本あれば墨と水の加減、筆遣いで墨の濃淡や太い線、細い線等自由自在に何でも描けるのが水墨画の面白いところです。

水墨画の基本は、始めは薄い墨、後から段々濃い墨で重ねて空間の奥行きを表現しますが、長年描いている今でも墨の濃淡の表現の深さには驚かされますね。

好きで描いている水墨画、これからも創作意欲の限り続けていきたいと思えます。



「白蓮」  
流れるような池の水面に、咲き誇る白い蓮の花を描いた作品。四曲屏風仕立て。

## 音楽の楽しさをつなげたい

**音**楽で学べることや得られる経験は貴重ですが、部活だけで終わってしまうのはもったいないと思うんです。そこで音楽を継続して楽しみ、かつ真剣に取り組む場として三芳ウィンドオーケストラは始まりました。当初の倍以上の人数になったメンバー。世代や育ってきた環境は違っても音楽を楽しむという強い絆で結ばれていると感じます。

現在はコロナの影響でお客さんを入れての演奏は中止してしまいましたが、継続してやってきた活動を止めたくないという思いで、配信などに切り替えて活動を続けています。年内では12/24(金)20:00からYouTubeで生演奏を配信でお届けするので是非ご覧ください。



▲真剣ながらも音楽を楽しめる環境に笑顔がこぼれます。



ごとう ひろみ  
**後藤裕美**さん (左)  
あべ たくや  
**阿部拓也**さん (右)  
みやした ももみ  
**宮下桃実**さん (中)

3人とも町内在住。町内中学校で吹奏楽の指導をしていた阿部さんと、教え子の親だった後藤さんが中心となり町内中学校の吹奏楽経験者で2014年に結成。宮下さんは高校生で入団した初期からのメンバー。活動の魅力が広がり、当初十数人だったメンバーは現在36人。

☎ 090-8810-2360



▶ 公式チャンネル (YouTube)

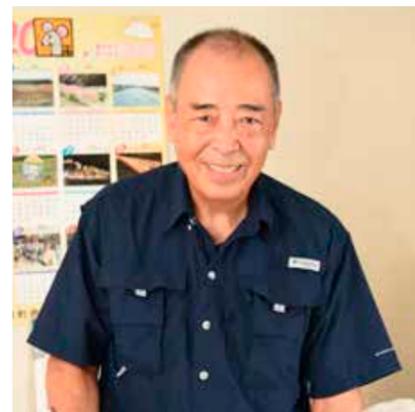
紙面で  
触れる



芸術文化  
の秋

# みよしの芸術文化家

町内で盛んに行われる芸術文化活動。継続的に芸術文化活動に携わっている人の活動にかける想いに迫ります。



すぎた よしひさ  
**梶田吉久**さん 書道

生まれも育ちも三芳町。20代に職場で当時手書きだった書類綴りの表紙を書くため書道を始める。現在は最高段位の師範で雅号は澄山(ちょうざん)。



▲自身の会社事務所にはいつでも書ができるアトリエを備え付け。様々な書風を書けるように筆を50本以上も揃えています。

## 人生に豊かさを与える 芸術文化

**書**道は奥が深いですね。ゆっくりしっかり描いても勢いが出ずに、良い書にならないこともあるし、その逆もあるんです。

そんな中でも研究をしながら文字や余白、全体のバランスに気を配って書いていますが、自分の納得のいく書を書き上げた時は何とも言えない達成感がありますね。

また、見る人によって善し悪しが違ってくるのも書道の面白いところ。次に書く書風はどうしよう、と制作意欲がくすぐられます。

長年続けてきた書道に限らず絵画や陶芸も好きです。これからも人生の豊かさのために芸術文化を取り入れていきたいですね。

▶「草色(そうしょく)全(まったく)細雨(さいう)を経て潤い花枝(かし)動(か)かんと欲(ゆる)するも春風(しゅんぷう)寒(か)し」  
訳：若草は柔らかな雨のめぐみにしっとり潤うものだが、花の枝がひらきそめると春というのに風が強く吹きつける。(※中国の官僚、詩人「王維」の漢詩の一句。)

